

うべソーラー・マイレージクラブ通信の発行にあたって

このたびは、うべソーラー・マイレージクラブ（以下U.S.M.C.）にご入会いただき誠に有難うございました。さて、日本では近頃、短時間での豪雨が多発とか熱帯性の魚や貝が捕獲された等の気候変動に係る影響と思われる事象を頻繁に耳にします。

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第4次評価報告書によると次のような事を指摘しています。

- ・地球の年間平均地上温度は20世紀に0.74℃上昇した。
- ・北半球及び山岳等の雪氷面積が減少している。
- ・地球の年平均海面水位は20世紀に0.17m上昇した。

（アフリカのサヘル地方 干ばつ）



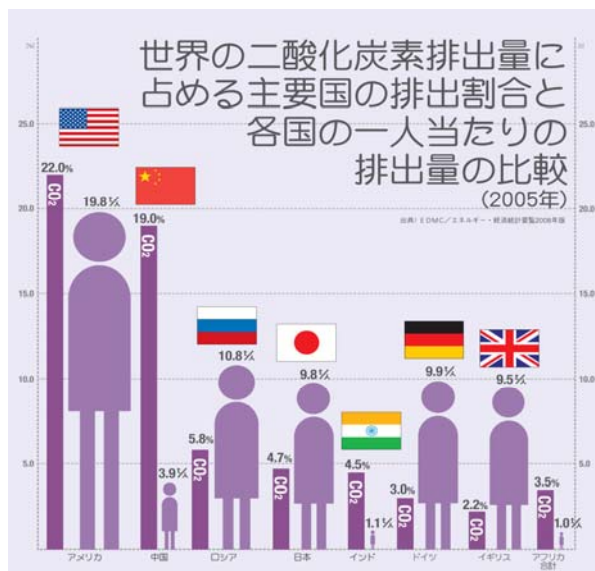
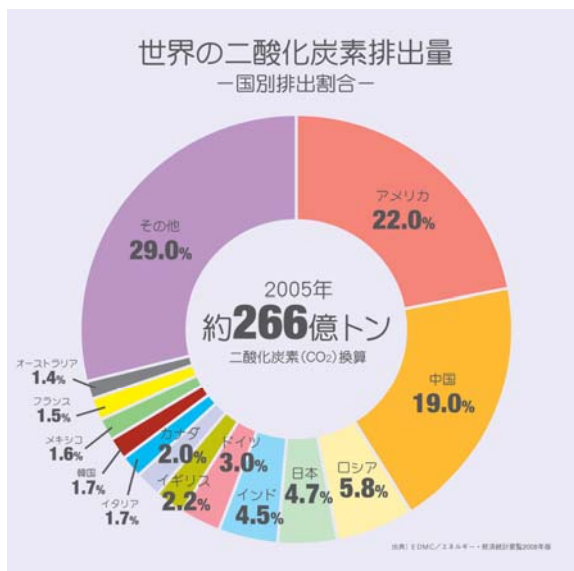
（メキシコのトルヒーヨ 台風被害）



このような20世紀後半の観測データより21世紀には次のような現象が予測されます。

- ・陸域全体の最高及び最低温度が上昇し暑い日が増加して、寒い日・霜の降る日が減少する。
- ・多くの地域で強い降水現象が増加する。
- ・夏の大陸で乾燥しやすく、干ばつの危険が増加する。
- ・地域によっては台風（熱帯低気圧）の最大風速及び降水量が増大する。

IPCCは、このような現象は人間活動に伴い発生する温室効果ガスによる影響が大きいと結論をだしました。温室効果ガスを削減し21世紀を明るい未来とするためには、脱化石燃料等による低炭素の新エネルギー開発や自然エネルギーの有効利用等に加えて環境配慮型なライフスタイルへの転換が求められています。



1、会員会議の報告

- (1) 日 時：平成 20 年 9 月 6 日（土） 13：30～15：00
- (2) 場 所：福祉会館 2 階
- (3) 参加者：会員、事務局等 30 名
- (4) 会議内容



1) 宇部市地球温暖化対策ネットワーク 中西代表挨拶

自然エネルギー(太陽・風・バイオマス)の中で太陽からのエネルギーは世界の使用エネルギーの 9,700 倍、風力では 1.5 倍と理論的に算定されている。このような大きなエネルギーを持つ太陽を利用した発電等に、これからの期待がかかる。

(中西代表挨拶)

(静かに聞き入る 参加者 30名)



2) 宇部市地球温暖化対策ネットワークの紹介 事務局長 仰木 則康

宇部市地球温暖化対策ネットワークは 2002 年 10 月に宇部市環境共生課内に設立され、2005 年 7 月に組織の見直しと幹事会機能の充実を行い現在に至る。

会員は産・官・学・民の 170 (団体 126、総人数 20,000 人) で構成され地球温暖化防止活動を推進している。

ソーラー・マイレージクラブ事業については 2008 年度に環境省から 5 団体採択された。うべソーラー・マイレージクラブは事業目的に基づき二酸化炭素削減目標値を 22,529Kg と設定し会員一丸となって達成を目指している。

3) うべソーラー・マイレージクラブの紹介 省エネ相談員 清水 幹生

日本は世界の二酸化炭素排出量の 4.7%を排出し、二酸化炭素濃度も産業革命(1800 年頃)以前は 280ppm であったのが現在では 390ppm に上がっている。省エネや植樹等により二酸化炭素量を削減し地球の温室効果を防がないと人類の未来は危ぶまれる。

(清水相談員から数々の省エネ方法の紹介があり、その関連の質疑が殺到した。)

(5) 質疑応答

植物と二酸化炭素、待機電力の削減、深夜電力の利用、太陽光発電設備のメンテナンス等の質疑があった。一部については当クラブ独自の回答が困難なため各機関に問い合わせ結果をマイレージ通信で会員に報告することにした。

(6) 閉会の挨拶 事務局長 仰木 則康

我々に出来ることから省エネを推進し、住みやすい環境を未来に残そうではないか。



(7) 質疑応答の詳細

1) 植物は日中、光合成して二酸化炭素を取り込んでいるが夜間はどうか？

(答) 植物も動物同様に呼吸をして酸素を吸収し二酸化炭素を放出している。しかし、昼間は光合成量が多くなり、呼吸量を上回って結果的には二酸化炭素が吸収される。夜間は呼吸のみとなり二酸化炭素を放出する。

2) 屋外のコンセントに電気器具を付けているが、その電源の屋内スイッチを切ることで待機電力は消費されないか？

(答) それで大丈夫です。

3) エコタップのスイッチ部分の明かりは電気消費しないのか？

(答) メーカーのサンワサプライ(株)に問い合わせた結果 0.05~0.08W で、24 時間点灯して 1 月で 0.06KWH

弱です。それより、点灯でスイッチの切り忘れを確認した方が待機電力の節電になります。

(CD ラジカセの待機電力：10W)

4) 待機電力を消費する電気器具で本体にしかスイッチがないため ON、OFF が面倒である。スイッチを手元まで引き出せないか？

(答) (株)ニシマルに問い合わせた結果、「孫の手スイッチ」(松下製)があり、2m程度引き出せる。

また、15A (1500W) まで使用可能である。

5) 洗濯機にタイマーを付けて深夜電力 (11:00~8:00) を利用しているが省エネになるか？

(答) 経費節減にはなるが省エネにはならない。

6) 太陽光発電設備が2階の屋根に設置してある。洗浄や冷却はどうしたら良いか？

(答) (株)エコテックに問い合わせた結果、太陽光発電設備は勾配がついているため基本的には洗浄は必要ありません。冷却もコストと発電量を考えるとメリットなし。

7) 省エネを推進する中でコンビニの照明、ライトアップは反省エネではないか？

(答) コンビニの照明については今京都市で賛成・反対の議論がされている。1990 年に比べて温室効果ガスの排出量は 6.2% 増えており、内訳で見ると産業部門は排出量は削減されているが、家庭部門は 30% も増加している。要は個人個人が夜型の生活を改めるといったライフスタイルの変換が求められている。

8) ソーラー・マイレージクラブ事業の助成金交付について？

(答) 環境省へ3月末に事業報告書及び経費の証明書を提出することにより助成金が交付される。

2、再春館ヒルトップ薬彩工園の太陽光発電設備見学報告

- (1) 年月日 平成20年9月19日(金) 8:30~20:00
- (2) 場所 再春館ヒルトップ・薬彩工園
(熊本県上益城郡益城町寺中 1363-1)
- (3) 参加者 会員等 28名 事務局 4名 合計 32名



再春館製薬所の案内嬢

(4) 見学概要

再春館ヒルトップ・薬彩工園の太陽光発電設備は平成12,15,16,17年に設置され多結晶太陽電池モジュールを屋根及び施設壁面に配置している。総発電量は1,570KWで工場の年間電力消費量の約22%をまかなっている。晴天の昼間での発電量は工場使用電力の100%にも達する。



再春館ヒルトップ・薬彩工園

13:30~

見学者32名は歓迎館にてVTRにより薬彩工園の説明を受ける。

14:00~

再春館の顧客対応に係る事務現場を見学

(ワンフローで顧客対応等に係る500名の職員の管理体制は見事なものでした。)

14:30~

商品製造に係る現場を見学

15:30~

太陽光発電設備等の見学

(屋根及び壁面の電池モジュール・パネルの広さに圧倒されました。)

注) 工場内部においては写真の撮影禁止のため詳細の写真は掲載できませんでした。

貸し切りバスにて一路熊本へ（全員集合して、やれやれ一安心）



にこやかに挨拶される中西 弘 代表



再春館製薬所ヒルトップ工場見学 2008年9月19日



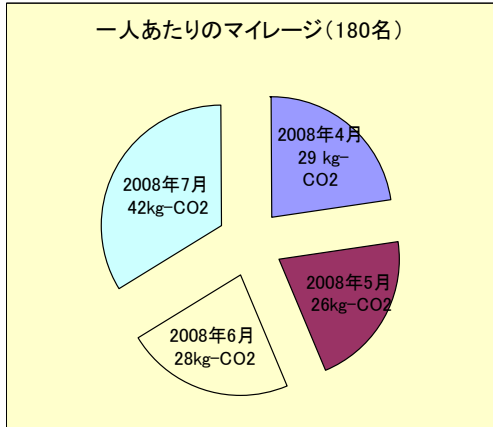
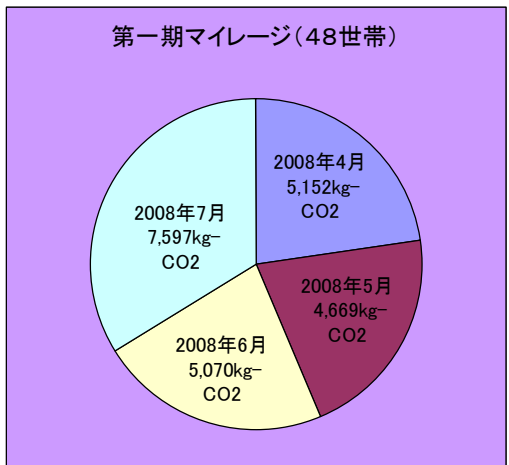
見学を終えてバスに乗り込む参加者



昼食時の休憩時間に（台風も去り晴天となった）

● 第一期(4月~7月) ソーラー・マイレージ順位

会員 NO.	SM	順位	会員 NO.	SM	順位
22	1,733	1	9	356	25
1	1,535	2	8	331	26
7	1,468	3	12	320	27
6	1,416	4	29	308	28
19	1,252	5	32	305	29
4	1,224	6	17	280	30
38	1,019	7	23	265	31
5	936	8	30	264	32
43	840	9	16	260	33
31	839	10	45	225	34
13	808	11	44	174	35
33	709	12	36	164	36
14	705	13	46	162	37
2	704	14	42	148	38
25	646	15	15	145	39
3	626	16	18	123	40
11	624	17	48	112	41
35	545	18	24	26	42
39	528	19	27	-57	43
28	484	20	41	-74	44
34	473	21	47	-188	45
40	436	22	21	-331	46
26	409	23	10	-366	47
37	388	24	20	-811	48
合計 SM(48世帯180名)=22,489 (kg-CO2)					



● ソーラー・マイレージTop20 について(全国)

環境省から委託を受けている全国5団体の会員のSMを期間ごとにランク付けし、上位20名を「ソーラー・マイレージTop20」として顕彰ならびにホームページで発表されます。通期のTop20はH21・3月末、東京におけるイベントにて表彰されます。

1期~3期及び通期は次の通りです。

1期 H20.4~H20.7、**2期 H20.8~H20.10**、**3期 H20.11~H21.1**、**通期 H20.4~H21.1**

編集後記

平成20年度のソーラー・マイレージ事業は、皆様方のおかげで順調に歩み始める事が出来ました。データ収集については、ご面倒をおかけしたと思いますが、ご親切に対応していただき有難うございました。「省エネ・CO2削減」は、地球環境を良くし子孫繁栄につながりますので、今後とも堅実に継続いただくようお願いすると共に、ご協力に心から感謝申し上げます。

発行：宇部市地球温暖化対策ネットワーク
 うべソーラー・マイレージクラブ
 〒755-0032 山口県宇部市寿町2丁目18番11号
 TEL&FAX:050-1298-4065
 E-MAIL:usmchome01@ybb.ne.jp
 usmchome02@ybb.ne.jp
 URL:http://ubeondanka.net
 編集担当： 舛田相談員・清水相談員

